

横浜市戸塚区民文化センター

平成 26 年度

事業計画書

指定管理者 アートプレックス戸塚株式会社

施設運営業務

1. 施設の利用に関する業務

(1) 基本要件

①開館時間及び休業日

- 開館時間 : 午前9時 ~ 午後10時
受付時間 : 午前9時 ~ 午後9時
休館日 : 年末年始(12月29日~1月3日まで)
全館施設点検日(毎月第2火曜日及び8月2月の第2水曜日)
※ただし、対象日が祝日に当たる場合は、開館することが出来る。

②利用区分

- ホール : 午前 9:00~12:00
 午後 13:00~17:00
 夜間 18:00~22:00
ギャラリー : 全日 9:00~22:00
その他諸室 : 午前 9:15~12:15
 午後1 12:45~14:45
 午後2 15:00~17:00
 夜間1 17:30~19:30
 夜間2 19:45~21:45

(2) 施設貸出業務

利用受付

- ホール : 6ヶ月前の1日から受付開始
ギャラリー : 6ヶ月前の1日から受付開始
その他諸室等 : 3ヶ月前の1日から受付開始 ※ホールと同時申込の場合はホールに準ずる。

(3) 料金徴収

料金徴収は利用申請時に窓口にて現金徴収を原則とする。

(4) その他

- ① 稼働率・入場者数の目標値を設定し、稼働率の向上・賑わいの創出に努める。
ホール平均稼働率 75% リハーサル室・練習室・ギャラリー稼働率(平均) 70%
総来場者数 95,000人
- ② 施設利用者・来館者の利便性を高め、快適・安全・安心して利用できる環境を提供する。

2. 会議の実施

(1) 維持管理運営部会

P F I 事業全体の会議に出席し、月次報告等を行う。毎月第2金曜日。

(2) 優先予約利用調整会議

優先予約について、地域振興課と調整会議を行う。適時。利用月の8か月前の末日まで。

(3) 区民文化センター会議

館長及び各業務責任者による責任者会議を月1回、受付及び事業の会議をそれぞれ月1回、職員全体会議を月1回開催する。

(4) その他会議

市や区、SPCが主催する会議に要請に応じて出席する。

3. 貸館事業

(1) 施設広報

市民を始めとする施設利用者に対し、HP等の広報媒体により、施設の空き状況や利用方法を公開し、利用者が使いやすい環境を整備する。施設内に月間催事予定表などを掲示する。

(2) 利用者の安全確保

利用者の演出の要望に応えながらも施設の安全を確保し、より高い満足感が得られるよう支援するとともに、事務の効率化を図る。

(3) 利用受付業務

利用ルールの周知徹底を図り、公平で満足度の高い接遇に努める。

(4) 新規利用者の開拓

施設の広報宣伝を行い、魅力ある施設のPRを行う。

(5) リピーターの確保

サービスの向上と利用者の立場に立った運営により、リピーター確保に努める。

(6) 付加価値の提供

市民による高度な文化・芸術活動に対応した設備・サービス体制の整備を行う。

(7) 相談・助言・紹介機能

スタッフによる利用者への演出的アドバイスなどの相談・助言を行う。利用者の要望にあわせて、別途有料にて技術者・専門人材の紹介を行う。

(8) 特記事項

練習系施設の稼働率向上のため、譜面台の無料キャンペーンを行う。

対象施設：リハーサル室及び練習室1・2・3・4

対象期間：平成26年4月1日から平成27年3月31日

4. 広報業務

さくらプラザオリジナル情報紙を隔月発行する。HPを適宜更新、各自主事業の情報チラシにより周知を行う。

地元企業・学校等への広報依頼と販売協力に取り組み、広告等による広報営業活動を行う。

その他、新聞等メディアの取材、近隣自治体文化施設等への依頼・連携を深め、多角的なパブリシティを行う。

5. チケット販売

(1) 自主事業のチケット販売

指定管理者が行う自主事業のチケット販売を行う。

施設窓口だけでなく、インターネットチケット販売システムを利用し、利便性を高める。

(2) その他のチケット販売

市民の利便性を高めるため、施設利用者の公演チケットや市内外他施設の公演チケットの委託販売を受付窓口にて実施する。(販売手数料有料10%)

※委託販売手数料は指定管理者の収入として計上。

6. 報告書等の作成

- (1) 次年度事業計画概要：8月末まで
- (2) 次年度事業計画：12月末まで
- (3) 日報：区から要望があった場合には提出する。
- (4) 月報：毎月終了後、15日までに区に提出する。
- (5) 本年度事業報告書、収支決算書：年度終了後2か月以内
- (6) 本年度自己評価：事業報告書提出後1か月以内
- (7) その他、市が求める報告書の作成：適時

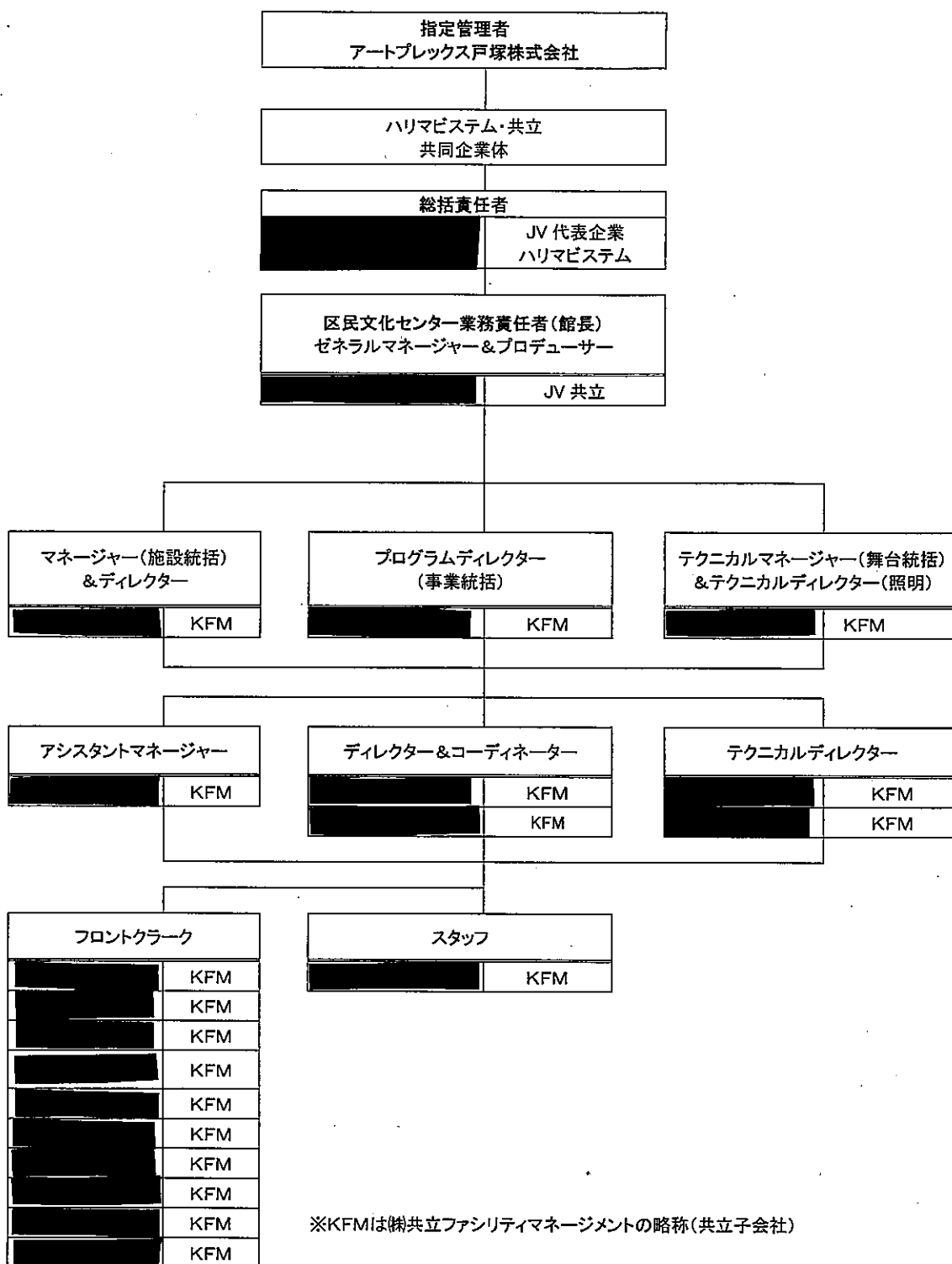
7. スタッフ研修

マナー・接遇・受付業務研修	採用時及び適宜
館内研修	採用時及び適宜
ホール、諸室等の利用方法等	採用時及び適宜
文化振興、生涯学習、指定管理者研修	採用時及び適宜
個人情報保護研修	採用時及び適宜
安全研修（舞台スタッフ）	年1回
救命技能認定講習研修（応急処置、急病者対応等）	採用時及び適宜
業務内容、取扱方法、整備方法等研修	採用時及び適宜
専門研修	適宜
非常時研修	年1回
プライオリティパーソン対応研修	年1回
避難訓練（総合庁舎の法定訓練に参加）	年2回

※マニュアルを生かしたOJTを日常的に実施する。

1. 組織図

戸塚区民文化センター(さくらプラザ)運営組織図



2. 職員構成 (※職員交代の場合は、同等の能力を有し提案書の条件を満たす者を配置/地元雇用を優先する)

上記、組織図の通り

施設管理業務

1. 建築物保守管理業務 ※仕様書・業務計画書の通り

2. 建築設備保守管理業務 ※仕様書・業務計画書の通り

3. 舞台保守管理業務

(1) 日常保守管理

常勤舞台技術者による日常保守点検を行い、不具合等の早期発見に努める。目的別に報告書を作成・保管し、関係者間で情報を共有する。

(2) 専門業者による点検

各設備メーカーによる点検を行い、ホール演出性能の維持と安全性の確保に努める。

【舞台機構・舞台設備点検・保守業務】

作業項目		作業内容	実施頻度
都度	舞台機構設備・備品点検	緞帳、引割緞帳、パトン等昇降・開閉等運転を実施	適時
定期点検	舞台機構設備点検 ホール	操作盤、引割緞帳、袖幕、パトン等・反射板昇降、パトン等吊物・機構設備点検	4回/年
	舞台照明設備点検 ホール	主幹盤、分岐盤、調光器盤、調光操作卓、ワイヤレス装置 持込卓用コネクタボックス、舞台袖操作パネル、DMXパッチ盤、持込機器用分電盤、センターピンスポット用分電盤、 可搬型調光器、負荷設備、負荷コンセント	2回/年
	音響・映像設備点検 ホール／リハーサル室 ／練習室	音響調整卓、出力制御機器架、パワーアンプ架、舞台袖操作架、プロセニウムスピーカー、サイドスピーカー、ステージフロントスピーカー、 2階席補助スピーカー、固定ハネ返りスピーカー、ウォールスピーカー、アンダーバルコニースピーカー、調整室モニタースピーカー、ワイヤレスマイクシステムラック、ワイヤレスマイク、ワイヤレスアンテナ、3点吊マイク装置、インターカムシステム、エアモニターマイク装置、連絡用スピーカー類、カメラ、映像モニター架、モニターテレビ類、出力制御部、書画台、ビデオプロジェクター、移動用中型スピーカー、移動用パワーアンプ、マイクロホン、移動型PAセットの動作・聴感、測定	2回/年
保守	ピアノ保守点検(調律込) ホール／リハーサル室 ／練習室	ピアノ(外国製)1台、(日本製)2台の整調、調律、整音、外装点検及び清掃	各1回/年
定期	ピアノ定期調律 ホール／リハーサル室 ／練習室	ピアノ(外国製)1台、(日本製)2台の調律	各4回/年

4. 清掃業務 ※仕様書・業務計画書の通り

5. 備品・消耗品の保守管理業務 ※仕様書・業務計画書の通り

6. 環境衛生管理業務 ※仕様書・業務計画書の通り

7. 工事及び修繕等に関する業務 ※仕様書・業務計画書の通り

8. 業務委託先

業者名	委託内容
株式会社 共立ファシリティ・マネージメント	常勤職員・パートタイム職員・臨時技術者の雇用
株式会社 システムエンジニアリング	音響・映像設備保守点検
株式会社 三精テクノロジーズ株式会社	舞台機構保守点検
パナソニック株式会社	舞台照明保守点検
株式会社 松尾楽器商会	フルコンサートピアノの保守・調律
株式会社 ヤマハミュージッククリテイリング	セミコンサートピアノ・アップライトピアノの保守・調律

平成26年度収支予算

(単位：円/税込)

【収入】

市が支払う経費	¥126,054,458
利用料金収入	¥32,586,181
事業収入	¥9,502,945
その他	¥999,800
収入合計(A)	¥169,143,384

【支出】

人件費	¥66,907,577
光熱水費	¥21,625,374
建築設備保守管理費 ※舞台・照明・音響設備	¥6,272,780
建物維持管理費	¥27,327,374
什器備品保守管理費	¥2,405,274
大規模修繕・更新費 ※舞台・照明・音響設備	¥12,464,325
事務費	¥8,708,656
事業費	¥15,922,793
その他費用	¥7,509,231
支出合計(B)	¥169,143,384
収支(A) - (B)	¥0

※消費税法の改正に伴い、平成26年4月1日より消費税率が変更されることから、変更後の消費税率8%で計算している。

文化の振興に関する業務

文化振興事業（平成26年度）

（事業区分：鑑＝鑑賞・普＝普及・育＝育成・参＝参加・交＝交流・情＝情報発信）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数等	収入 (千円)	支出 (千円)
【鑑】 劇場への招待	演劇などの舞台芸術・伝統芸能など。	未定・年1回	1,300	1,500
【鑑】 素敵な音楽会	ホールの優れた音響を活かしたクラシックコンサート。出演：山形由美 (Fl) /ほか	9月27日	900	1,300
【鑑】 素敵な音楽会	ホールの優れた音響を活かしたクラシックコンサート。出演：小林道夫 (pf/cemb)	5月24日	500	800
【鑑】 素敵な音楽会	ホールの優れた音響を活かしたクラシックコンサート。前橋汀子プロデュース vol.1・2	4月19日 11月8日	2,000	3,000
【鑑】 素敵な音楽会	ホールの優れた音響を活かしたクラシックコンサートを開催。	未定	600	900
【鑑】 素敵な音楽会	ホールの優れた音響を活かしたクラシックコンサートを開催。ベートーベンピアノソナタ全曲を4年かけて演奏。出演：若林顕 (pf)	年6回	600	1,200
【鑑・普】 子供のための公演	子供を対象とした演劇・音楽会など。	8月	250	300
【参・普】 区民感謝祭「真夏のさくらの祭典」	市内の夏休みオープンデーに連動し、全館を使ったワークショップ、イベントなど様々な企画を実施。	8月	700	1,300
【参・交】 収穫祭「さくらの祭典」	練習室利用者を中心に広く公募し、発表機会を提供し活動意欲を高めるとともに、区民に無料で様々なジャンルの鑑賞機会を提供する。		0	250
【鑑・普・育】 ランチコンサート	若手アーティストによる誰もが知っている名曲を中心としたコンサートなど。	年6回	900	800
【普・育】 アトリーコンサート	アーティストによるコンサートやワークショップなど。区内の学校や他施設にて開催。横浜市芸術文化教育プラットフォームと連携。	8回	300	800
【参】 ホールでピアノ	市民がホールでフルコンサートピアノを演奏する機会を提供	年4回	60	50
【参】 ワークショップ	主として子供を対象とした音楽・芸能・文化など、様々な講座を開催。	年2講座	60	200
【参】 アート・マネジメント講座	アートをマネジメントするために必要な芸術文化への理解やマネジメントの知識を深めるための講座・シンポジウムなどを実施。	年2講座	30	200
【参・交】 NPO 設立準備会	芸術文化 NPO の設立を目指し、法人設立準備を行う。		0	50
【普・育】 拠点アーティスト創生事業	オーディションまたはコンペにより、拠点アーティストを選定。施設を練習場所として無償で提供するほか、普及事業への出演・ワークショップ講師などを依頼。	5組程度	0	1,000
【参・鑑・普】 区民企画コンペ「区民企画事業 2014」	広く区民に参加機会を提供する文化事業に対し、優先予約を行う。	年2件程度	0	100
【鑑・普】 共催事業	芸術性が高く、先駆的な事業、または公益性の高い事業に対して、共催による優先予約や利用料の減免を行う。	年2件程度	0	100
【情】 複合製作費	複数の事業にまたがる製作費 広報宣伝、備品購入等の販売促進事業費	通年	—	1,000
【情】 ホームページ運営	自主事業、施設利用ガイドなどの情報を広く告知。（立ち上げ費用を含む）	通年	—	150
合 計			8,200	15,000